

全国市町村長サミットでの収穫

市長 米本 弥一郎



先日、幕張メッセで開催された「地域力の強化に向けた全国市町村長サミット2024 in千葉」に参加しました。全国の市町村長などが一堂に会し、共通する課題や地域活性化の取り組みを共有する会議で、オンラインでの参加を含めて、全国から約380人が集まり、活発な議論や交流が行われました。

今回、私は「少子化対策」をテーマとした分科会での事例発表を依頼され「生涯活躍のまち・みらいあさひ」について発表しました。旭の宝である旭中央病院の周辺に、あらゆる世代が地域と共に楽しく健康に「ひと・まち・くらし」が充足する生涯活躍の拠点となるまちづくりを進めていることや、商業施設の中に多彩な機能を備えた多世代交流施設「おひさまテラス」を整備し、多くの方に利用していただいていること

を説明しました。そして、このまちづくりによる効果を市全体の活性化につなげていきたいと述べました。

発表後の質疑では、事業実施までの経緯や、旭市の子育て支援に対する取り組み姿勢などの質問を受けました。私は、若者が安心して結婚・出産・育児ができるよう、市としてできる支援は全てやっていきたいと答えた上で、個々の市町村ができることには限界があり、国や県、民間事業者などと力を合わせて、全体で取り組む必要があると訴えました。

サミットでは、他の市町村長からも、まちづくりに対する考え方や思いを聞くことができ、良い刺激になったと感じています。また終了後には、うれしいことに視察の問い合わせをいただいております、旭市を広く発信できたという意味でも、実り多い1日となりました。